

## 平成 30 年度第 2 回我孫子市農業拠点施設指定管理者選考委員会議事録

### 1. 会議の名称

平成 30 年度第 2 回我孫子市農業拠点施設指定管理者選考委員会

### 2. 開催日時

平成 31 年 3 月 26 日（火） 14 : 00～16 : 35

### 3. 開催場所

我孫子市手賀沼親水広場 水の館 3 階研修室

### 4. 出席者

#### 【選考委員】

上村文明委員長、新保美恵子副委員長、嶺岸勝志委員、古内圭委員、工藤文委員、杉森敬規委員

#### 【指定管理者 株式会社あびべジ】

大炊三枝子代表取締役、鈴木康仁取締役、田村星寿取締役

#### 【事務局（農政課）】

松本清課長、大井一郎主幹、斎藤寿義主査長、小澤俊輔主任

### 5. 議題

- ①平成 30 年 4 月から 12 月までの事業報告・評価
- ②平成 31 年度事業計画書と収支計画書の承認

### 6. 公開・非公開の別

公開

### 7. 傍聴人及び発言者の数

4 名（公募による委員を含まないため、発言機会は無し）

## 8. 会議概要

4月から12月までの指定管理業務に対する選考委員会によるモニタリングとして、株式会社あびべジからの事業報告に対して、選考委員からヒアリングを行った。また、株式会社あびべジからの平成31年度の事業計画書と収支計画書の説明に対して、選考委員からヒアリングを行った。ヒアリングの詳細は以下のとおり。

### ①平成30年4月から12月までの事業報告・評価

(指定管理者の株式会社あびべジから説明後のヒアリング)

A 委員) それでは各委員から質問をお願いします。

B 委員) 接客対応に改善が見られたり、商品表示も洗練されたものに進化したり、努力が見受けられます。ただし、残念ながら赤字が黒字に転換するには至っていない状態です。生産者も大事ですがこれまで以上に消費者に高いウエイトを置いた発想が必要なのだろうと思います。質問は提案も含め各委員の後にします。

C 委員) 昨年度に比べれば改善傾向にあるのかなと思います。ただし、収支は依然として厳しく、内訳を見ると特に加工菓子部門、飲食部門におけるマイナスの割合が大きくなっています。アンケートには高齢者の方から「量が多かった」という意見がありますが、米舞亭のメインの顧客はどのような層ですか。また、その層にメニューは合っているのでしょうか。

あびべジ) 平日は年配のお客様が多いです。お客様に喜んでいただくために量が多いメニューもありますが、量が多いのがいいお客様、少なくてもいいお客様の声のバランスを見て考えていきたいと思っています。土日・祝祭日には家族連れの若いお客様が増えてきているので、そういった方々を対象にしたメニューづくりにも力を入れていきたいと思っています。

D 委員) お店はよく利用させていただいており、工夫や努力を感じているところです。市議会では、赤字がこれだけ累積しているのはマーケットの大きさを読み間違えているのではないかという話や市民に還元されるよう一刻も早い黒字転換が望まれるという話が出ていました。また、現段階で1千万円の赤字が出ているのであれば、不採算部門の加工部門と飲食部門を切り離して、他の業者に再委託し、得意とする直売部門の経営に集中してはどうかという意見も出ていました。それらの意見に対して、環境経済部長は「選考委員会の意見を聞きまして」という回答を2回しているのを聞いて、選考委員として責任の重さを感じたところです。不採算部門を再委託することについて、あびべジさんはどのように考えているのでしょうか。

あびべジ) 加工部門、飲食部門に取り組む経緯から少しご説明させていただきます。直売のみを行っていたアンテナショップ時代の課題が加工品の不足でした。当時、今後直売所が生き残っていくために何が必要かという研修会に何度も参加しま

したが、多くの研修会で6次産業化の必要性が語られていました。そのため、水の館に農業拠点施設が計画されたときは、加工施設や手賀沼の景色を楽しめる飲食施設を設けて、直売所の魅力をより高めたいという考えがありました。1年目は、経験不足やオープンにあたっての人手の確保が原因で大きな赤字を出してしまいました。今年度は、黒字には至りませんでした。人件費の削減や野菜スイーツなどメニューを試行錯誤して、赤字は削減できたところです。現在は、加工品が手作りのためにどうしても人件費が高くついてしまうという壁にぶつかっており、千葉県産業振興センターの協力を得て解決の糸口をつかもうとしています。再委託については、選択肢の1つとして認識していますが、道の駅しょうなんが拡張するのに対して直売所だけで対抗できるのかという思いもあり、まだまだ改善できる余地があると思うので、今は出来ることに取り組んでいきたいと考えています。存続自体が本当に厳しくなったときは、市と相談しながら選択と集中で決断していきたいと思っています。

E 委員) 加工菓子部門と飲食部門について、具体的な改善策はありますか。

あびべじ) 菓子部門については、昨年から季節に応じた野菜入りスイーツを販売してきたなかで、売れ筋商品が分かってきました。2月からはこれまでの商品をABC分析し、売れ筋商品に特化して販売しているところです。また、役員が店頭に立って販売したり、外注を受けたりして2月、3月は売り上げを上げています。現在の課題は、先ほども述べましたが、手作りの割に単価が安く利益が出にくいことです。コンサルタントの協力を得ながら、付加価値を付けて単価を上げていくことを検討しています。飲食部門に関しても、メニューの絞り込みと既存のメニューに付加価値を付けて値段設定を上げていくことを検討しています。5月頃にメニュー構成を変えて、シフトも絞り込んでチャレンジしていきたいと思っています。

E 委員) ABCのCを切って改善していくのは業界ではセオリーですが、値上げはとても怖いです。新商品で上げていくほうがいいと思います。10円、20円でもお客さんは敏感に反応します。飲食に関しては、正直私はメニュー数が多いとは思いません。あと、前室から入って米舞亭に向かうのに、行き止まりを作らないレイアウトにできないかなと思います。買い物を目的に来た人がふらっと立ち寄りやすいのかなと思いますので、そこを改善するだけでも売上が上がるのではないかと思います。

F 委員) 加工部門について、惣菜は菓子に比べて昨年からかなり赤字が圧縮されていますが、どのような改善策をとりましたか。

あびべじ) 初年度の惣菜は、1品おかずものや簡単な丼ぶりものだけでしたが、冬からお弁当販売を開始し、年明けからは市役所への出張販売を始めました。メニューの主軸がお弁当になり、販売単価が上がったことが改善に繋がりました。また、川村学園女子大学とのお弁当開発で、メディアに取り上げられて認知度が高ま

ったことや、スタッフの作業効率が上がり少ないシフトで回せるようになったことも改善に繋がったと思います。

F 委員) 6月から千葉県産業振興センターのコンサルティングを受けているなかで指摘された事項と対応策を教えてください。また、収支状況報告を見ると、給与の項目が削減されてきていますが、何か対策をしたのか教えてください。

あびベジ) 経営の意識改革と各部門における人件費の削減に取り組んできました。具体的に各部門で対策として何をしていくのかはこれからというところです。

A 委員) 私もコンサル指導の効果がどうか気になっています。すぐ効果が出るものではないかもしれませんが、経営者のやる気がポイントになると思います。一般のお店は家賃を払って経営するわけですから、利益を市民に還元できる体制になるよう頑張ってもらいたいです。一昨年の秋は、長雨で業績が悪かったと報告されていますが、今年も9月、10月の売上が低いのはなぜでしょうか。また、一般的に12月は利益が上がるものだと思いますが、悪化しているのはなぜでしょうか。

あびベジ) 9月、10月は、夏の猛暑の影響と昨年とは逆に雨が少なかったことで、農産物が不足したことが影響しました。自然相手の難しさはありますが、安定供給できるよう生産調整を農家さんをお願いしていきたいです。12月は、お客様に多く来ていただくことを想定してシフトを増やしていましたが、想定していたほど客足が伸びなかったことが影響しました。

A 委員) 廃棄ロスについては、どのような状況でしょうか。

あびベジ) 廃棄分は、各部門で帳簿をつけて管理しています。直売部門では昨年5月に果物の仕入れでニーズの見込み違いから大きなロスを出してしまったことがあり、廃棄ロスをなるべく出さないよう細目な仕入れに努めているところです。製造した加工品についても、その日のうちに売り切れるように夕方から割引販売しています。

A 委員) 割引目当ての消費者さんもいると思うので、そこは上手にやっていただきたいと思います。収支状況について、経費が計画に対して100%を超えている科目がありますが理由を教えてください。

あびベジ) 原価償却については、実績をベースに計画していましたが、新しいものが加わり増えています。法定福利費については、積算が甘かった部分と従業員の賃金が上がった影響で増えています。

A 委員) 自主事業の自動販売機が計画と比べて売上の達成率が低いのはなぜでしょうか。

あびベジ) 当初は館内の自動販売機は弊社が設置している2機のみでしたが、2階や水の広場前にも市が設置した影響だと思います。

A 委員) 分かりました。それではちょうど30分経過しましたが他にありますか。

B 委員) 直売所で買った加工品、例えばおにぎりを米舞亭で食べられないのはなぜでしょうか。食べる場所も少ないので場所を提供してはいかがでしょうか。

あびベジ) 商品が持ち込まれて、米舞亭のメニューを求めてきた方が食べられないことにならないようお断りしています。

B 委員) 直売所で買ったものをその場で食べたいというニーズは少なくないと思います。遊歩道を歩く高校生や若い親子が立ち寄る場になってほしいと思います。また、消費者の趣向を敏感に察知して、あびこんが市内の農家さんを活かせる農業拠点施設になってほしいと思います。

A 委員) イートインの問題は、消費税率の問題があるところなので、慎重にご検討いただきたいと思います。では、ヒアリングを終了したいと思います。あびベジさんをご退席ください。ありがとうございました。

(株式会社あびベジ退席)

A 委員) それでは、各委員から寸評をお願いします。

F 委員) 全体的には計画書どおりの取り組みがあり、農業拠点施設としての機能は果たされているのかなと思います。特に、学校給食における食育や供給校の増加、保育園への活動の拡大など、こういうものは未来への投資として継続してほしいですし、評価したいと思います。かねてから言われていますが、直売部門が核となり他の部門も支えられるようになってほしいと思います。

C 委員) 今回もっとも恐れていたことですが、本体の直売部門に赤字が出てしまっています。加工部門や飲食部門に引きずられてしまわないよう、再委託が必ずしも最適解ではないと思いますが、あびベジの中でよく検討していただいて、結論を出していただきたいと思います。いずれにしても抜本的な改善が必要なのだろうと思います。

D 委員) 昨年度に約 900 万円の赤字、今年度さらに現在までに約 300 万円の赤字が積みあがっているのを不安に感じています。市議会ではいずれ銀行借り入れをしなければならぬのではないかと、あびベジでは財産を持っていないので役員個人の負債になってしまうのではないかと意見が出ていました。私は、あびベジさんを選定することで、我孫子の農業がもっと活性化することを期待して選考しましたが、役員が個人保証して債務を負うということになると、逆に我孫子市の中核的な農家が疲弊してしまうのではないかと選考委員として恐れているところです。

B 委員) 議会で不採算部門を心配されていることはもっともですが、遊歩道をうまく活用できていないのではないかと思います。平日の午後でも遊歩道にはたくさんの方が歩いているのに、米舞亭は閑散としている。これは残念ながら立ち寄りたと思わせるだけの魅力が無いからだと思います。個人的には、遊歩道の利

用者や市民活動団体などの利用促進を図ることで改善できる余地があると思うので、再委託の決断をするのは早計ではないかと思います。また、生業としての農業の活性化にだけ目を向けて、あびベジや農家に責任を委ねるのではなく、行政が環境保全や地域社会の活性化など大局的な視点からビジョンを描き、農業拠点施設がその象徴的な場所になることを期待します。

E 委員) 皆様のご指摘のとおりだと思います。コンセプトを明確にして頑張っていたきたいと思います。

A 委員) 私は、学校給食、市民平等、市民の雇用・市内業者の活用、連携体制は高評価しました。行政と同じ方向を向いて頑張っていると感じています。ただし、数字がついてきていない。ついてこない数字をどう改善していくか。経営基盤が安定しなければ、最終的には撤退しなければならない。撤退することになれば責任は役員さんになってしまうと思います。行政と同じ方向を向いた取り組みを継続していくためにも本当に頑張っていたきたいと思います。

## ②平成 31 年度事業計画書と収支計画書の承認

(指定管理者の株式会社あびベジから説明後のヒアリング)

D 委員) 事業計画書の 11 ページ、(5)連携体制の 3.周辺施設との連携 についてお聞きします。道の駅しょうなんとは、具体的にどのような連携をされていくのか教えてください。

あびベジ) 現在はお互いにパンフレットを置いている程度ですが、道の駅しょうなんはリニューアルもされるので、手賀沼周辺の活性化をともに進めていくために、こちらから積極的にアプローチして情報交換をしていきたいと考えています。

E 委員) 米舞亭が目標を達成するには大変な努力が必要だと思いますが、頑張っていたきたいと思います。質問はありません。

F 委員) 31 年度は新しい取り組みとして野菜ソムリエ協会と連携していくとありますが、具体的な内容がすでに決まっていれば教えてください。

あびベジ) 「チョコバイ！」というサイトに登録したことがきっかけで、東葛地域の野菜ソムリエの方と繋がり、東葛地域の野菜を PR する取り組みがしたいということで連携することになりました。すでに打合せを 2 回しており、6 月第 1 週の 2 日間ある周年祭では、6 人の野菜ソムリエの方にお越しいただき、店内と店外のブースに分かれて、新しい野菜の食べ方を紹介していただく予定です。11 月の農業まつりでもご協力いただけるようお願いしています。

B 委員) ポスティングの話がありましたが、我孫子駅周辺の集合住宅など人口密集地帯からどれだけ呼び込めるかは重要だと思います。ポスティングだけでなく、自治会や集合住宅の管理組合に相談して、掲示版等に案内を貼付させていただ

くとより印象に残ると思います。あとはいろいろな市民団体のトップクラスとの連携を強めて味方に引き込むことも大切だと思います。

C 委員) 来年度はこれが目玉だという事業がありましたら教えてください。

あびベジ) 配架台に農産物を置いているというだけでなく、より美味しく食べてもらう、農家の顔が見えるようにすることに力を入れて取り組みたいと考えています。それが最も農業者を後押ししていくことに繋がっていくと思います。現在取り組んでいることとして、ある団体に市内農家の似顔絵作成を依頼しており、写真を掲示しているお店とは差別化して、農業者さんをアピールしていきたいと考えています。

A 委員) 事業計画書の“はじめに”に、都心から約 30 km圏内の地理的利点を活かした事業展開をしていくとありますが、具体的にどんなことを考えていますか。

あびベジ) 我孫子市は都心のほうにいろいろな野菜を運んでいた行商の歴史がありますので、都心の方々に販売できるルートも作っていきたいと考えています。

A 委員) 具体的には何かありますか。

あびベジ) まずは我孫子市の農業者をクローズアップして、珍しい取り組みをしている農家さんなどを SNS など通じてアピールしていきたいと思います。また、農業体験に対するニーズが高まっているため、31 年度での実施は難しいかもしれませんが、体験イベントの実施なども検討していきたいと思います。

A 委員) わかりました。12 月まではご報告いただきましたが、1 月から 3 月までの推移は計画の数字に近づいているのでしょうか。

あびベジ) 収支状況について、本日の資料はモニタリング対象の 12 月までが提示されていますが、実際は 2 月まで結果が出ているところです。指定管理事業以外も含まれた数字になりますが、損失は約 330 万円です。予算計画には届かない状況です。

A 委員) わかりました。やはり直売部門が売上の 80%を占めますので、まずはここを頑張ってもらいたいと思います。同時に、加工部門、飲食部門の赤字を縮小していくと。31 年度は 3 年目になるので本当に頑張ってもらいたいです。他に委員から質問はありますか。

B 委員) ダンス教室やいろいろな団体が遊歩道や親水広場の活用を考えているようですので、そういった団体の活用、協力をご検討いただければと思います。

A 委員) それでは、これで質疑を終了したいと思います。あびベジの皆様ありがとうございました。

(株式会社あびベジ退席)

A 委員) それでは事業計画の承認に移りますが、最後に何か発言のある委員はいますか。

B 委員) “はじめに”に「観光にまで発展させるような新たな取り組みの可能性を模索することも求められている」とあり、私はそれを重視しています。

A 委員) “はじめに”には総論的にいろいろ書かれていますが、それを具体的にどうするのかという部分が無いとただ言っているだけになってしまいます。30年度も収支がかなり厳しいということで、31年度の成績を良いものにするには、経営者として相当の覚悟を持ってやっていただきたいと思います。31年度の事業計画と収支計画の承認についていかがでしょうか。

各 委 員) 異議なし。

A 委員) それでは、委員会として平成31年度の事業計画と収支計画を承認いたします。今後の日程について事務局からお願いします。

事 務 局) 来年度は、4回の選考委員会を予定しています。第1回は5月末に平成30年度の事業報告とモニタリングを行います。第2回、第3回は、2020年度以降の指定管理者を選考するため、審査基準の検討や指定管理者の選考を行います。第4回は来年3月に平成31年度の12月までのモニタリングを行います。

A 委員) 以上で、平成30年度第3回指定管理者選考委員会を閉会いたします。ご協力ありがとうございました。

以上